

福島県猪苗代湖湖底に記録された歴史的な古地震記録 Sedimentary record of historic earthquake in Lake Inawashiro, Japan

行木 勝彦^{1*}, 井内 美郎², 長橋 良隆³, 廣瀬 孝太郎³
Katsuhiko Nameki^{1*}, Yoshio Inouchi², Yoshitaka Nagahashi³, Kotaro Hirose³

¹ 早稲田大学大学院人間科学研究科, ² 早稲田大学人間科学学術院, ³ 福島大学共生システム理工学類
¹Graduate School of Human Sciences, Waseda University, ²Faculty of Human Sciences, Waseda University, ³Faculty of Symbiotic Systems Science, Fukushima University

2012年秋、福島県中央部に位置する猪苗代湖の湖心において、福島大学によって約30mの湖底堆積物を貫く湖底掘削が行われた。我々は、その堆積物試料のうち表層部1.3mにおいていくつかのイベント堆積物を見出し、最近の歴史的な地震記録との対応を試みた。

堆積物は緑灰色シルト質粘土が主体で、黒色の斑点が点在する。そして、暗色部が縞状に分布する。湖底から深度約35cmから40cmには灰褐色のシルト層をはさむ。軟X線写真では通常の堆積層のほかにX線の透過がやや劣るいくつかの堆積層が存在する。今回、層厚5mm間隔で試料を採取し、含水率を測定し、1cm間隔で粒度を測定した。その結果、含水率が通常よりやや低く、やや粗粒なイベント層がいくつか確認された。深度約35cmのイベント層は、1888年の磐梯山の噴火の結果生じた泥流の一部と考えられる。泥流堆積層を基準にして重量堆積速度を求め、各イベント堆積物の堆積年代を推定した。その結果、1943年の田島地震や2011年の東北地方太平洋沖地震に対応する可能性のあるイベント層などが見いだされた。

キーワード: 猪苗代湖, イベント堆積物, 歴史的な地震
Keywords: Lake Inawashiro, event layers, historic earthquake